

暮らしを支える公共施設の建設

(仮称) 町立南三陸病院・総合ケアセンター

平成26年7月、志津川東地区内において、(仮称)町立南三陸病院・総合ケアセンターの起工式が行われ、建築工事が進められています。



戸倉小学校



平成26年9月、津波で被災した戸倉小学校の再建に向けて起工式が行われました。

戸倉地区子育て支援拠点施設

平成26年12月、被災した保育所を高台に移転するため、建築工事に着手しました。



(イメージパース)

なりわいの再生を支える施設の建設

南三陸町地方卸売市場（本設）

仮設で営業を再開していた南三陸町地方卸売市場は、本設の衛生管理型市場として、平成27年1月に建設工事に着手しました。

シロザケふ化場（小森）

平成26年12月、小森で稚魚500万尾の生産が可能なふ化場の建設工事に着手しました。



●新南三陸町地方卸売市場（イメージパース）

漁港及び周辺の整備

漁港施設

荒砥漁港

町管理の19漁港で災害復旧事業を実施中です。また、16漁港で復興交付金を活用した舗装・嵩上げ等の工事を進めています。



その他基盤施設の整備

三陸沿岸道路

(仮称)志津川IC付近



防潮堤



志津川港

漁業集落防災機能強化事業

23漁港28地区のうち、23地区で事業に着手し、集落道（避難道路）・防災施設・水産用地などの整備を進めています。

ほ場整備



板橋工区

河川堤防



桜川

復興後のまちのすがた

志津川市街地のランドデザイン報告

平成26年5月、町が世界的に著名な建築家の隈研吾氏に検討を依頼した、「志津川市街地のランドデザイン」の報告会を行いました。



●防潮堤沿い遊歩道（イメージ）

《製作》隈研吾建築都市設計事務所 Kengo Kuma & Associates

3地区のまちづくり協議会での検討

志津川地区

輝くみらいづくり部会が設立され、公共交通（バス）や行政区に係る提言のほか、復興や暮らしの問題が検討されました。

伊里前地区

高台団地の現地見学会や先進地視察が行われたほか、被災低地部の計画、公園・集会所整備の方向性が検討されました。

戸倉地区

高台団地に整備される公園・集会所に関する意見交換や折立地区のまちづくりの計画について話し合いが行われました。

住まいの再建（高台移転）

防災集団移転促進事業

平成25年度に6団地（41戸）、平成26年度に13団地（191戸）、計19団地（232戸）の造成工事が完成しました。完成した団地では、住宅の建築が始まっています。



●造成工事が完了し、住宅の建築が進む団地

完成率 約26.9% ※平成27年4月1日現在
完成232戸（19団地）／計画863戸（28団地）

災害公営住宅整備事業

平成26年度に3地区（104戸）の復興住宅が完成しました。平成26年8月から入谷地区・名足地区で、平成27年2月からは柘沢地区で入居が始まりました。



●建築工事が完了し、入居が進んだ復興住宅

完成率 約14.1% ※平成27年4月1日現在
完成104戸（3地区）／計画738戸（8地区）

	平成25年度完成	平成26年度完成
歌津	堺、長羽	田の浦、石浜・名足、名足保育園南、生活センター西、泊浜、館浜、寄木・蕪の浜
志津川	荒砥、平磯、袖浜	西田・細浦
戸倉	藤浜	西戸、波伝谷松崎、波伝谷、津の宮合羽沢、津の宮原

平成27年度から平成28年度にかけては、長清水団地の完成（8戸／平成27年4月）のほか、8団地（623戸）の造成工事が順次完成する予定です。

また、災害公営住宅も、5地区（634戸）が完成予定となっています。

